

第5回全国市議会議長会研究フォーラムイン大分報告書

日 時 2010年10月20日～22日

場 所 大分

視 察 湯布院・日田市豆田町

基調講演の「衆議院議員を辞めて昨今思うこと 河野洋平」では6年間の衆議院議長を務め、ねじれ国会などの経験から衆参両議院の調整。各会派の言い分を調整し、一度決めたことについては実行することの難しさが語られた。

パネルディスカッションでは、「地方議会のあり方 定数と報酬はどうあるべきか」をテーマに討論が行われた。議会は市民に信頼されることが重要であること。それを行うためには議会基本条例による市民対話集会や政策研究会など市民意見を直接聞く場所の提供が必要であり、議会便りなどの広報のあり方についてもドラステックに変更し市民の皆さんに読んでもらうための工夫が必要である。また、予算編成権は議会にはないが、議会側からの予算提案ができるようにすることが必要。そのためにも事務局体制についても今まで以上に強化が必要である。議員報酬や定数問題も市民の皆さんに議員活動が理解をされていない部分が多いので積極的に情報を発信する事が求められている。との意見が交わされた。多治見市議会も議会基本条例を基に改革を進めなければいけないと感じた。

また、2日目のディスカッションでは、「議員の政治倫理条例」「議会調査権」をテーマに議論が交わされた。政治倫理条例は議会内統制を目指していくのか。住民統制を求めていくのか。2つの方法があり、まずは議会内での統制が必要である。又条例では、「議員の口利きの程度」はどこまでなのか。など問題もあるが議員自らの判断が重要になって行くこと。名ばかり条例にしないように必要があれば条例改正し、新しい議会を構築するためには議員倫理条例は欠かせない条例になっていく。との意見が出されました。議会調査権については、議会が行政評価し、又その結果を反映するために、行政調査を行うために必要である。また、議会の政策立案能力を上げていくために、調査権を拡大する事が求められている。との意見が出された。



湯布院

由布院の駅を中心に数多くの商店が点在し金鱗湖、温泉宿など古い町並みを数多くの観光客が散策をしている。特に韓国の観光客や修学旅行の生徒などが多く、日本ではないような感じがした。九州は韓国、中国からの観光客が多く表示や対応にも工夫がされている。

由布院温泉旅館組合は、イオン株式会社、イオン九州株式会社が提携して『ゆふいん湯歩（ゆぽ）WAONカード』が販売している。由布院の物産や地ビールなどが販売され由布院の観光に弾みがつくことを期待されている。



日田市豆田町

地区は重要伝統的建造物群保存地区に選定をされており、国の予算により、道路整備や建物改築が行われており、日田市を挙げて、まちづくりに取り組んでいる。豆田町には、時代背景が違う建物、廣瀬資料館や酒蔵などの建造物が観光の目玉としてうまく使われている。

